



第48号  
 編集発行所  
 〒990-2492  
 山形市鉄砲町一丁目15-64  
 山形県立山形西高等学校  
 嚶鳴同窓会  
 電話 023-641-3504



会長 小笠原 悦子 (昭和50年卒)

### 未来へ羽ばたく

## 嚶鳴同窓会の実現に向けて

嚶鳴同窓会会員の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。令和4年度より、会長を務めさせていただきますことになりました昭和50年卒の小笠原悦子です。会長就任並びに第48号嚶鳴同窓会報の発行にあたり、一言御挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、なかなか終息の兆しが見えず、会員の皆様の周辺にも罹患された方、御商売やお仕事に多大な影響を受けた方が多いことと思います。そういった状況下でも、同窓会への御支援、御協力を賜りました事に、心より感謝申し上げます。

さて、前三役の皆様におかれましては、平成27年度の就任以来、数々の改革を進めてくださいました。会員減少を見据えた総会チケット代金及び同窓会費の見直し、予算規模の拡大や解りやすい会計への組み換え、卒業生の表彰内容の拡充、同窓生への後援事業新設など、枚挙に暇がありません。さらにコロナ禍で同窓会活動の制限を余儀なくされる中、昨年度は縮小した形であるとはいえ、総会の開催も実現していただきました。

就任したばかりで、今後何ができるか不安でいっぱいですが、鈴木京美、齊藤明美両副会長とともに、先輩方が築いてきた歴史と伝統、改革を継承しつつも、時代の変化を踏まえた同窓会の在り方を考



校長 片桐 寛 英

### 未来を生きる力を育む

## 教育の推進

嚶鳴同窓会の皆様には、日ごろ多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍にあつて相変わらず様々な制約がある中ですが、4月の入学式、6月の山形県総合文化芸術館での創立124周年記念式典・合唱コンクール、そして7月の校内総体を無事開催することができました。

今春の進学状況については、国公立大学に115名が合格しました。地元山形大学には48名が合格し、昨年から大きく増えております。共通テストが難化した中で、後期まで粘り合格した生徒が多かったことは特筆すべきことです。今後新しい大学入試に対応した様々な取り組みを講じて参ります。

部活動では、県高校総体で弓道部が2年連続優勝、さまざまな個人が2位に入り四国インターハイに出場、新聞部、放送部、書道部、弁論が東京都で開催された全国高校総合文化祭に出場することができました。

また、今年度から新学習指導要領がスタートし、18歳で成年になるなど学校を取り巻く環境も大きく変化しています。そうした変化に対応すべく、①全生徒に1人1台のタブレットPCを貸与し、授業や家庭学習で活用しています。後援会からは、校内全てに無線LANを整備していただきました。こうした西高のICT教育が評価され、県の「ICT教育推進拠点校」に指定されました。

②授業時間を55分から50分にし、各自が必要な勉強に充てる時間を増やしました。③部活動を自由加入とし、部活動に限定せず、課外活動の幅を広げられるようにしました。④機能性、ジェンダーフリー、多様性尊重等の観点から制服にストラクスの追加しました。⑤欠席等の連絡は電話でなく専用アプリで行っています。等々、今年から西高はハード・ソフト両面で大きく進化をしております。

今後とも、変化する社会を逞しくしなやかに生き抜く人間を育てる教育を推進して参りますので、嚶鳴同窓会の皆様には一層の御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。



### 令和4年度 総会のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、今年度の総会も規模を縮小して開催を予定しています。

- とき 令和4年11月6日(日)
  - ところ パレスグランデール (山形市荒橋町一丁目17-40)
  - 参加対象 全役員・評議員 および全学年クラス幹事 (山形県内在住)
  - 内容 評議員会 クラス幹事会 アトラクション
- 『「今を生きる力」を』
- ①須藤恵美子 氏 (昭和58年卒) 増川 大輔 氏 (一巻しのピアノとチェロのデュオ)
  - ②渡部留美子 氏 (昭和59年卒) 一健康増進のヨガ講座



**弓道部インターハイ出場**

弓道部は令和3年度の県高校総体で優勝し、新潟県上越市で開催されたインターハイに、山形西高校弓道部の団体戦としては40年ぶりに出場しました。2年生だけで編成されたチームには勢いがあり、予選は20射中15中の4位タイで通過しました。しかし、決勝トーナメントでは固くなつてしまい、力を発揮しきれずに敗れてしまいました。2年



## 在校生の活動

生で貴重な経験をし、勝つ喜びを知ったことは、来年度のインターハイ出場に向けた大きなモチベーションになったと同時に、今は大きな重圧や負ける怖さも感じています。それでもそんな弱い自分と向き合い、いつも同じ目標を持った仲間がいることを支えにしながら、連覇を目指して日々頑張っていきたいと思っています。(弓道部部长 3年 金澤 杏佳)



## ルールメイキングプロジェクト

ルールメイキングプロジェクトとは全校生一人ひとりが主体となって学校のルールや校則を考え、先生方や保護者の方とともに見直していく活動です。月2〜3回程度のミーティングを通して、校則のあ

り方やそもそも校則とは何かといったことについて互いに考えを深めています。最近ではスラックスの導入についての話し合いや試着会を行いました。さらに校友会執行部と協力し、ルールメイカーが中心となって校友会総会で「ジャージ下校の是非」について話し合うための準備を行いました。(校友会会長 3年 伊藤 心優)



**同窓会表彰式**

学業成績・人物・部活動等全てにわたって優秀な生徒2名に嚶鳴同窓会長賞が贈られました。特別活動で全国大会入賞した生徒に贈られる特別活動賞は、該当者がいませんでした。

青木 杏(なぎなた部)  
佐藤 歩実(弁論)

**嚶鳴同窓会長賞**

令和4年2月28日、本校体育館にて令和3年度卒業生の入会式が行われ、196名の卒業生が新たな仲間となりました。来賓として、校長、事務部長、教頭、3年次担任団を迎え、事務局からは鈴木会長、青木副会長、奥山副会長、令和4年度より三役となる小笠原会長、鈴木副会長、齊藤副会長、校内理事7名の

御三方は、平成27年度の就任以来7年の長きにわたり数々の改革を進めてくださいました。総会チケット代金及び同窓会会費の見直しなど、同窓会委員の減少を見据えた予算規模の拡大やわかりやすい会計への組み換えをなされました。西高生の卒業時の表彰内容の拡充や、同窓生の活

- 令和3年度**  
(全国高等学校総合文化祭和歌山大会)
- 弁論 佐藤 歩実
  - 書道 星川 凜
  - 放送(アナウンス) 土井 文愛
  - 新聞(展示参加) 坂入 美穂
- 森谷 桃花
- 英語部  
全国高校生英語ディベート大会Online  
メイクフレンズ賞
- 放送部  
東北高等学校放送コンテスト秋田大会  
アナウンス部門 入選 矢口 美羽  
朗読部門 優秀賞
- 放課後実験倶楽部  
第7回全国ユース環境活動発表会東北地方大会  
審査員特別賞
- 令和4年度**  
(東北高等学校選手権大会)
- 登山部 団体 第2位

- (県高校総合体育大会)
- 陸上競技部 砲丸投 第3位 鈴木ひより
  - やり投 第4位 鈴木ひより
  - 登山部 団体 第2位 東北大会出場
  - バドミントン部 団体 第3位
  - 新体操部 個人総合 第2位 高橋 花音
  - 個人フープ 第3位 山崎 心春
  - 個人フープ 第2位 山崎 心春
  - 個人フープ 第3位 高橋 花音
  - 個人フープ 第2位 高橋 花音
  - 個人フープ 第3位 山崎 心春
  - 弓道部 団体 第1位
  - 個人 第2位 横山 愛華
- 全国高校総体出場  
全国高校総体出場
- なぎなた 団体 第2位 東北大会出場
  - 演技競技 第4位 庄司 叶羽・齊藤 花実
  - 東北大会出場
  - テニス部 団体 第3位 東北大会出場
  - サッカー部 第3位

- (県高校放送コンテスト)
- 朗読部門  
第1位 齋藤 愛華 全国大会出場  
第2位 軽部花れん 全国大会出場
- アナウンス部門  
第1位 矢口 美羽 全国大会出場  
第2位 峯田あかね 全国大会出場  
第5位 矢口 柚梨 全国大会出場
- 創作ラジオドラマ部門  
第1位 全国大会出場
- (山形県民ふれあい書道展)
- 書道部  
山形市長賞 花輪 早紀  
南陽市長賞 菅原 花

## 繋ぐ、嚶鳴の絆

### 令和3年度嚶鳴同窓会総会

令和3年10月31日(日)パレスグランデールにて嚶鳴同窓会総会が開催されました。私共の学年は当初、令和2年度の当番幹事を務めさせていただく予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中止となり、2年越しの開催で役目を果たすことができました。しかしながら、賀寿の方々をお招きすることは困難と判断いたしました。出席者を県内在住の評議員様、クラス幹事様と限定し、総勢102名の皆様にお集まりいただきました。ご招待を見送った令和2年度、令和3年度の賀寿の皆様にはお手紙と共に創立120周年記念誌をお送りしました。昭和27卒の先輩方からはご芳志をいただき、また諸先輩方よりお手紙などのお心遣いを頂戴いたしましたこと、深く感謝申し上げます。「校歌」をBGMにご出席の皆様に入場いただき総会を開会しました。鈴木よし子前



とも喜ばしく、また限られた人数ではありましたが、平成12年、13年卒の当番学年でも久々に顔を合わせることで、再び絆を深めることができました。

ご参加いただきました皆様はじめ、ご協力いただきましたすべての方に心より御礼申し上げます。(平成12年卒 石澤 加奈子)

コロナ禍で2年続けて見送った支部総会、評議員が対象で食事なしの会議形式ですが、初めての会場・ホテル椿山荘東京で開催することができました。11階の広い窓からの見渡す庭園、懐かしい顔との再会に心浮き立つものがありました。

総会のテーマは「次世代へ繋ぐために」。これまで何度かもぶつかってきた壁であり、同窓会の永遠のテーマです。支部の一番の悩みは、移動の激しい若い世代の同窓生を探し会員登録してもらうのが難しいこと。まずは同期の輪を作ってもらうため、若手会員のためのランチ会や名簿づく

## 次世代に繋ぐために

### 嚶鳴同窓会東京支部

支援等を再考しながらやってみる。HPやSNSを見やすくアクセスしやすいものに、メルアドを登録してもらおう、など工夫しながら色々やってみようということになりました。新卒生への贈呈と若手支援の資金作りのための新しい支部グッズ・クリアファイルと付箋もお披露目できました。支部グッズ販売につきましては同窓会本部に多大なご協力を頂いており、感謝申し上げます。

みんなで心置きなくおしゃべりできる日を心から待ち望んでおります。(昭和44年卒 笠井 ひで子)



## 「旧三役への感謝の会」

5月11日、第一回同窓会評議員会の後、嚶鳴会館にて旧同窓会会長鈴木よし子様、旧副会長青木智子様、奥山潤子様への感謝状贈呈式が開催されました。

御三方は、平成27年度の就任以来7年の長きにわたり数々の改革を進めてくださいました。総会チケット代金及び同窓会会費の見直しなど、同窓会委員の減少を見据えた予算規模の拡大やわかりやすい会計への組み換えをなされました。西高生の卒業時の表彰内容の拡充や、同窓生の活



動を応援する支援事業も新設されました。また、新型コロナウイルスの蔓延で活動が大幅に制限される中にあっても、新しい時代の同窓会の在り方を常に考え、運営していただきました。

会長、副会長の職をお辞めになつても、鈴木様は顧問として、青木様、奥山様は引き続き評議員として、同窓会の運営にお力を発揮してください。

コロナ禍で簡素な形とはなりましたが、会場は評議員の感謝の拍手に包まれました。

新三役に無事バトンを渡し、花束を手にした御三方の素敵な笑顔が心に残る会でした。(平成4年卒 鈴木 千尋)

### 田口忠宣先生

田口忠宣先生  
平成3年4月〜平成18年3月在職

### 「多くの仲間と教え兒たち」は宝物!

爽やかな季節となった5月下旬に、田口忠宣先生行きつけの、とあるコーヒースhopでお会いしてきました。田口先生とは、1年に数回お会いするのですが、この日もいつものようにお元気な先生でした。

早速、田口先生に「勤務時代の思い出を教えてください。よろしくお願いします。」とお願いすると、様々な思い出をお話してくださいました。田口先生の思い出や現在のことをQ&A方式でお伝えします。

Q. 西高で再任用時代も含めて18年間勤務されましたが、どのような学年を持たれたのですか?  
A. 1回目は山口学年(山口先生は国語教諭)で平成3年4月〜平成6年3月の間



現役時代の田口忠宣先生

Q. 担当された教科は何ですか?  
A. 社会科の地理を担当し、理系の生徒を教えていました。思い出に残っているのは、3年受験対策として年末ギリギリまで「地理クラブ」と名付けた「特訓」を行い、講習中に秘かにクリスマス会をして激励したことです。

Q. 現在ほどのようなことをなさっているのですか?  
A. 音楽部顧問だった吉田先生から、定期演奏会に招待され、音楽部の素晴らしい演奏を鑑賞させてもらっていました。また、一部の先生ではありますが、今でも交流が続いています。

Q. 現在ほどのようなことをなさっているのですか?  
A. 色々な活動をしています。大きく分けると3つの事をしています。一つ目は、若手教員のための平和活動として「民間教育研究団体」での取り組みに参加しています。二つ目は、趣味としてアマチュアカメラマン活動をしていきます。山形県内の自然風景を写真として記録し、カレンダーやミニフォトブック(写真集)を作っています。三つ目として、高齢なので各種の通院も多いのですが、囲碁や映画鑑賞(ドキュメンタリー映画中心)も行っています。

Q. 担任や学年主任の他に思い出に残っている校務はありますか?  
A. ちょうど「山形西高100周年事業」の担当となり、「山形西高100年史」の記念誌編集を行いました。この記念誌に私の写真も掲載されています。また、記念式典では司会を担当したことも良い思い出です。

Q. 最後に一言お願いいたします。  
A. 山形西高校勤務時代は、退職までの約15年間で、この15年は、生徒たちと過ごせたとても有意義な楽しい時間でした。数限りない思い出が溢れ、写真にもこの思い出がたくさん残っています。楽しい時間をありがとうございました。多くの仲間と教え兒たちは宝物です!



撮影作品「若葉の記憶」

### 新しい時代へ。羽ばたけ西高生!

昭和63年卒 武田 靖子

最近、全国の学校で、あるムーブメントが起きています。それは校則を改革する「ルールメイキング」と呼ばれるものです。いわゆるブラック校則を変えることが目的ではありませんが、多様な価値観を尊重し、時代に合わせたルールを作ったり見直ししたりすることが求められます。また、この取り組みを通して主体性や自律心を育むことも期待されています。その背景をぜひOGの皆様にもご理解頂ければ幸いです。

今年発表された日本財団による18歳意識調査(日、米、英、中、印、韓6ヶ国6000人の若者対象)で、日本は「自分の行動で社会や国を変えたい」という責任ある社会の一員だと思おう」という質問に対して最下位。イギリス85.9%、インド78.9%に対して日本は26.9%にとどまりました。また、「政治や選挙、社会問題について、関心がある」も最下位。ルールは守ればよい、多数決に従う、国や社会は自分たちでは変えられないという意識を反映しています。これからは複雑でより不確実な時代となり、一つの正解より最適解を求め、自分の考えや価値観を軸に相手と対話する力も必要になってきます。その中で自分たちのルールは自分たちで作ると意識、先生や保護者、地域とも折り合いをつけ最適解を見つけていく校則改革の取り組みは非常に重要な機会と捉えられており、我が西高でも校友会を中心に進められています。

男女共同参画では女性の権利を、女性活躍推進で環境整備を、そしてこれからは女性も男性も個性を尊重する個別最適化の時代を迎えます。新しい時代の西高生には、嚆矢精神で切磋琢磨し合いますが、内向きでなくガラスの天井を破って広い世界に踏み出し、より良い未来のために変革できる力を養って頂きたいと思えます。同窓生の皆様には、今後とも西高生のチャレンジを応援して頂きたくよろしくお願い申し上げます。

### 西高での宝物の時間をイマに

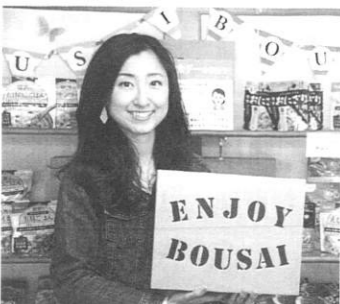
平成16年卒 西谷 友里

西高時代の友人は、今では子育ての悩みや自分たちのちよつとした夢を語り合える一生の友達となり、恩師の先生は仕事や経営の相談を本音でできる、一生の恩師になっています。

まさに、西高での宝物の時間が「イマ」につながっています。高校時代は、先生に見つかからないようにスカートを短くしたり、校内総体で優勝することに必死だった私ですが、西高での3年間が現在の私の原動力になっていることは確かです。

私は東京の大学を卒業後、地元テレビ局である山形放送に就職し、その後東京のIT関連企業に転職。現在は36才3児の母となり、実家である山形市の本町にある有限会社西谷の9代目として働いています。

防災士・消防設備士・一般毒物劇物取扱責任者という、女性らしくない?資格を持ち、2年前から「ENJOY BOUSAI USA」をテーマに、子育て世代の悩みや不安に寄り添い続ける防災ボックスを企画・開発。非常用のごはんや衛生用品、甘いもの、野菜など、災害時だけではなくいつも使



### 「仲間と励む喜び」

昭和42年卒 大場ひろみ

西高の茶華道部に入った時、初めて花鉢を握りました。部活では池坊でしたが、その後、草月流に流派を変え、部活で始めた「いけばな」を60年近く精進しております。

### ラトビアの地に立つて

昭和51年卒 川口 敏枝



大統領御夫妻と。左から2番目が川口さん

2019年1月より、特命全権大使を務めた夫と共にラトビア共和国に赴任し、この度帰国いたしました。世界地図を広げてみるとわかるように、ラトビアを含むバルト三国は、ロシアとその飛び地カリーニングラードに挟まれ、長い歴史の中で、周辺国に繰り返し支配されてきました。ガイドブックを見れば、世界遺産の旧市街は「バルトの真珠」と形容されますが、旧市街を一步離れれば、ソ連

時代への負の遺産がそのまま残されて全く別の表情を見せています。ロシアによるウクライナ侵攻以降、同じく旧ソ連から独立したラトビアが報道番組で言及される機会も増え、首都リガでも今なおロシア系住民が半数を占め、複雑な問題を抱えています。ラトビアは1991年に独立した後、「欧州に生きる」という強い政治意志の下、EUとNATOに加盟したことが転機となり、ウクライナと国の命運を分か

る女性の比率がほぼ75%を占め、OECD諸国の中で一位となっています(日本は最下位)。現大統領、首相のご夫人は、お二人共に、現役で活躍する医師でいらつしやいます。更に嬉しいことに、ラトビアは山形とも縁があり、毎年山形大学から数名の短期留学生を迎えています。

「歌と踊りの祭典」により民族の誇りを保ち続けてきた合唱の国ラトビアのお客様に、公邸にて山形の地酒を召し上がった頂きながら、嚆矢、西高合唱部の活躍を紹介できたのは、光栄なことでした。





### 令和3年度 主行事務報告

#### <令和3年度事業報告>

#### 令和3年

- 4月22日(水) 令和2年度会計監査
- 5月14日(木) 第1回評議員会
- 5月 嚶鳴三会長副会長会(中止)
- 6月 東京支部総会(中止)
- 6月23日(水) 創立記念式典・合唱コンクール  
(やまぎん県民ホール)
- 8月3日(火) 第2回評議員会  
(クラス幹事は実施せず)
- 10月31日(日) 同窓会総会

#### 令和4年

- 2月28日(月) 同窓会入会式、表彰式  
本校体育館
- 3月1日(火) 第68回卒業証書授与式  
本校体育館



### 令和3年度 維持会費納入状況 (令和3年4月1日~令和4年3月31日:納入者氏名省略)

[252クラス1,250,000円]

#### ◎令和3年度分

昭和38年	1~5組	昭和57年	1~6組
昭和39年	1~5組	昭和58年	1~6組
昭和40年	4、6組	昭和59年	1~6組
昭和41年	1~6組	昭和60年	1~6組
昭和42年	1、2、3、4、6組	昭和62年	1~7組
昭和43年	1~6組	昭和63年	1~7組
昭和44年	1~5組	平成元年	1~7組
昭和45年	1~6組	平成2年	1~7組
昭和46年	1~6組	平成3年	3組
昭和47年	1~6組	平成4年	1~7組
昭和48年	1~6組	平成5年	1~7組
昭和49年	1~5組	平成6年	7組
昭和50年	1、3、4、6組	平成8年	1~7組
昭和51年	1~6組	平成9年	1~7組
昭和52年	1~6組	平成10年	1~7組
昭和53年	1~6組	平成11年	1~7組
昭和54年	1~6組	平成12年	1~7組
昭和55年	1~6組	平成13年	1~7組

★昭和44年6組分は重複していたため、令和4年度分の預り金としました。

#### ◎令和2年度分

昭和38年	1~5組	昭和42年	1組	昭和48年	4組
昭和50年	4組	昭和57年	1、2、3、5、6組	昭和59年	1組
平成元年	1~7組	平成2年	1~7組	平成6年	7組
平成9年	1~7組	平成12年	1~7組		

#### ◎過年度分

令和元年度	昭和48年	4組
令和元年度	昭和50年	4組
令和元年度	昭和57年	2組
令和元年度	昭和59年	1組

※令和4年4月以降に納入いただいたものについては、次号の会報に掲載いたします。

### ご冥福とお祈り申し上げます

板垣(斎藤)典子 (S43西高)	大場(鈴木)富久子 (S24西高)	皆川(三浦)節子 (S24西高)	伊藤(京極)淑子 (S16高女)	白田(菊池)富久代 (S20高女)	栗野(石沢)直子 (S38西高)	工藤 清二 (旧職員)	横田 光正 (旧校長)	中山(太田)窈子 (S9西高)	奥山(国井)百合 (S17高女)	柏倉(秋葉)美貴子 (S44西高)	芳賀(鈴木)淳子 (S35西高)	石山(太田)榮子 (S38西高)	神尾(石井)ひさ (S11高女)	三浦(山口)春子 (S30西高)	原田(鏡)ふみ子 (S30西高)	長瀬(武田)ヒサヨ (S30西高)	空谷(国分)智慧 (S25西高)	庄司(中山)アサ (S17高女)	安藤(小山)裕子 (S28南高)	大木(布見)豊子 (S24西高)	高梨(板垣)幸子 (S30西高)	飛塚(羽田)令 (S47西高)	清野 千代子 (S36西高)	齋藤(細谷)公子 (S39西高)	鈴木(吉村)春美 (S49西高)
------------------	-------------------	------------------	------------------	-------------------	------------------	-------------	-------------	-----------------	------------------	-------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-----------------	----------------	------------------	------------------



## 私達のOG会

合唱をつづける喜び  
いつまでも

昭和49年卒 柴田 典子

嚶鳴女声合唱団は昭和48年音楽部OGによって結成、来年50周年を迎えます。

殆どの団員が全国優勝という得難い経験をしており、日本語の美しい響きを追求し、詩の心を奥深くまで求めつつ、人の心に届く歌を目指してききました。

合唱コンクール全国大会金賞、斎藤茂吉文化賞受賞、レコーディング、海外公演、東京公演、周年記念演奏会等々、走馬灯のように思い出されます。また、西高創立100周年、110周年・120周年式典での記念演奏は、「嚶鳴」の名を頂く合唱団として大変名誉なことでした。特に「110周年」は恩師である故阿部昌司先生の指揮で歌った最後の演奏となり、西高音楽部との共演も大切な思い出となっています。嚶鳴同窓会総会では平成16年から令和元年まで毎年合唱を披露、新旧校歌をご出席の皆様と声高らかに歌う機会に恵まれました。嚶鳴同窓会の皆様にはこれまで常に温かいご支援をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

通常は山形と東京に分かれて演奏活動を展開していますが、コロナ禍により東京支部は活動を休止、山形支部は断

続的ながら練習を行っていきます。団員ピアノリストの須藤恵美子さんによるオリジナルアレンジ曲を中心に、チェリスト増川大輔さんとのコラボで年数回開催してきたサロンコンサートでの再開を祈りながら……

高校のOG合唱団が途切れることなく活動を続けるのはあまり例のないことと言われます。それぞれ仕事や家庭を持ちながら毎週仲間と集い歌うことは、次の一週を生きていくエネルギーが湧いてくる喜びです。阿部先生に与えていただいた「感動」を原動力として、共通の「音楽性」を宝物として、これからも年齢差を越えて結ばれた生涯の友と合唱を続けていきたいと願っています。

### 平成30年度 嚶鳴同窓会総会



### 令和四年 米寿・喜寿のお祝いについて

米寿：昭和28年山形南高等学校卒  
喜寿：昭和39年山形西高等学校第10回卒

以上の方が該当学年となります。

Information お知らせ

★五十嵐(沼田)佳子さん(昭和50年卒)が4冊の本を出版されました。

### 編集後記

今回から会報の編集委員に参加させていただきます。記念すべき50号も近いこのタイミングで参加できることを嬉しく思い、先輩方の胸をお借りしながら、嚶鳴の心をお伝えできればと思っております。

最後になります。が、会報作成にあたり、お忙しい中ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

(平成13年卒 逸見 千尋)



同窓会報編集委員

### 同窓会報へ

お問い合わせ/TEL 023(641)3504  
FAX 023(641)3516  
山形西高校内 同窓会報担当まで  
学校ホームページ/  
<http://yama.nishi.we bpage21a.jp/>

### 嚶鳴同窓会役員

中原えい子 顧問 昭20 高女42	青木 智子 後援活動委員 昭46 西高17	武田由利子 後援活動委員 平元 西高35
佐藤 伶子 顧問 昭30 西高1	奥山 潤子 組織検討委員 昭47 西高18	氏家美由紀 維持会費検討委員 平2 西高36
武田美津子 顧問 昭39 西高10	中山 恭子 監事・組織検討委員 昭48 西高19	三浦 由紀 後援活動委員 平3 西高37
鈴木よし子 顧問 昭43 西高14	浜田 文子 組織検討委員 昭49 西高20	鈴木 千尋 会報編集委員 平4 西高38
片桐 寛英 学校長・顧問	田中 裕子 会報編集委員 昭51 西高22	菊池 貴子 維持会費検討委員 平5 西高39
小笠原悦子 会長 昭50 西高21	石川 由美 組織検討委員 昭52 西高23	笹森 愛 組織検討委員 平6 西高40
鈴木 京美 副会長 昭53 西高24	齋藤 良枝 維持会費検討委員 昭55 西高26	須賀 信子 維持会費検討委員 平7 西高41
齊藤 明美 副会長 昭54 西高25	神保 由美 会報編集委員 昭56 西高27	井上 尚里 会報編集委員 平8 西高42
岡崎 信子 後援活動委員 昭39 西高10	富樫由美子 会報編集委員 昭57 西高28	瀧本 悠子 会報編集委員 平9 西高43
菅野 ふみ 後援活動委員 昭40 西高11	須藤 祐子 維持会費検討委員 昭58 西高29	岡田真知子 維持会費検討委員 平10 西高44
佐々木智子 組織検討委員 昭41 西高12	大沼美奈子 後援活動委員 昭59 西高30	千歳 聡美 組織検討委員 平11 西高45
吉田 通子 維持会費検討委員 昭42 西高13	會津菜穂子 組織検討委員 昭60 西高31	浅井 恵子 後援活動委員 平12 西高46
蜂屋 三恵 後援活動委員 昭43 西高14	桑山 久爾子 組織検討委員 昭61 西高32	逸見 千尋 会報編集委員 平13 西高47
辻原 吉子 維持会費検討委員 昭44 西高15	鈴木 淳子 組織検討委員 昭62 西高33	
佐藤 淳子 組織検討委員 昭45 西高16	武田 靖子 会報編集委員 昭63 西高34	



令和 3 年度 嚶鳴同窓会会計決算書

1 収入の部 (単位:円)

項 目	3 年度 決算額	2 年度 決算額	増 減	備 考
I 経常費	6,360,293	4,371,405	1,988,888	
1 維持会費	1,250,000	927,000	323,000	5,000円×247クラス・3,000円×5クラス
2 入会費	591,000	591,000	0	@3,000円×197人 (R2)
3 会 費	591,000	591,000	0	@3,000円×197人 (R2)
4 繰 越	3,928,251	2,262,374	1,665,877	R2 年度残金
5 雑収入	42	31	11	利息
II 基本金	4,720,215	5,120,230	△ 400,015	定期預金4,100,000円を含む
1 繰 越	4,720,140	4,959,873	△ 239,733	定期預金4,100,000円を含む
2 バッチ	0	80,000	△ 80,000	
3 寄付金	0	80,000	△ 80,000	
4 雑収入	75	357	△ 282	利息
計	11,080,508	9,491,635	1,588,873	

2 支出の部 (単位:円)

項 目	3 年度 決算額	2 年度 決算額	増 減	備 考
I 経常費	1,557,465	443,154	1,114,311	
1 総会費	806,358	50,000	756,358	
2 支部補助費	100,000	0	100,000	東京支部補助・R2 まで基本金より支出
3 会議費	103,691	2,384	101,307	評議員会・クラス幹事会
4 後援費	30,000	0	30,000	
5 記念品費	0	80,000	△ 80,000	基本金会計で4年分支払
6 印刷発行費	239,250	66,000	173,250	会報印刷代・封筒印刷代
7 事務費	1,210	734	476	宛名ラベル・封筒代
8 通信費	59,452	57,664	1,788	葉書代・切手代
9 慶弔費	53,086	42,242	10,844	弔電代・祝電代
10 交通費	95,000	82,000	13,000	役員交通費
11 諸 費	69,418	62,130	7,288	入会式経費・全国大会激励金
12 予備費	0	0	0	
II 基本金	115,335	400,090	△ 284,755	
1 総会補助費	0	157,632	△ 157,632	R3 より経常費より支出
2 支部補助費	0	130,000	△ 130,000	R3 より経常費より支出
3 10年勤続表彰関係	54,500	57,150	△ 2,650	記念品・感謝状額縁
4 生徒表彰費	24,620	20,830	3,790	賞状・額・副賞
5 事務費	1,290	23,390	△ 22,100	送料
6 通信費	0	3,528	△ 3,528	切手代
7 記念品費	25,000	0	25,000	同窓会会長へ記念品
8 諸 費	9,925	7,560	2,365	卒業アルバム、展示用額縁
計	1,672,800	843,244	829,556	

総収入金額 11,080,508円 - 総支出金額 1,672,800円 = 残金総額 9,407,708円 (昨年度残金総額: 8,648,391円)

特別会計

	期首残高	期末残高	増減
嚶鳴同窓会名簿会計	2,057,796	2,045,339	△ 12,457
嚶鳴同窓会記念事業費	7,710,173	7,715,238	5,065

令和 4 年度 経常費予算(案)

1 収入の部 (単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
入 会 費	588,000	591,000	△ 3,000	3,000円×196人 (R3 年度卒業生分)
会 費	1,000,000	1,000,000	0	3,000円×196人 (会費20年)
繰 越 金	4,802,828	3,928,251	874,577	R3 年度実績
雑 収 入	172	9	163	R3 年度残金
計	6,979,000	6,110,260	868,740	預金利子他

2 支出の部 (単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
総 会 費	2,000,000	2,000,000	0	総会費
支部補助費	300,000	300,000	0	東京支部補助
会 議 費	200,000	200,000	0	評議員会、クラス幹事会など
後 援 費	60,000	60,000	0	会員後援費
記 念 品 費	0	0	0	新入会員の記念品(ピンバッチ)代
印刷発行費	350,000	350,000	0	会報印刷代、封筒印刷代
事 務 費	100,000	100,000	0	宛名ラベル、ファイル、封筒代など
通 信 費	200,000	200,000	0	葉書代、切手代、郵送料など
慶 弔 費	120,000	120,000	0	弔電代、祝電代など
交 通 費	300,000	300,000	0	役員交通費など
諸 費	150,000	150,000	0	入会式経費、全国大会出場部費など
予 備 費	1,199,000	330,260	868,740	
次期繰越金	2,000,000	2,000,000	0	前年度総会費の残額
計	6,979,000	6,110,260	868,740	